広島大学

第 178 回 学長定例記者会見　発表事項 1

令和７年4月24日

広島大学病院と公益財団法人放射線影響研究所は調査研究協力に関する協定を締結します

広島大学病院、公益財団法人放射線影響研究所（広島市南区、放影研）は、放影研が実施する被爆二世のゲノム調査に関する研究（トリオ研究）協力に関し、協定を締結します。

＜目的＞

広島大学病院と放影研が相互に連携し、参加を希望する対象者及びその血縁者に対し、適切な遺伝カウンセリング及び医療の提供を支援することが目的です。

＜連携協力＞

〇放影研は、原爆被爆者を含む両親とその子ども（トリオ）のゲノム調査の過程で、健康管理に役立つ遺伝子情報が判明した場合、所外の専門家を交えた審査のうえ、本人の希望により遺伝情報を返し、広島大学病院への受診を勧める。

〇広島大学病院は、遺伝カウンセリングや必要に応じて追加検査をする。希望があれば、引き続き医療支援をする。

※放影研のトリオ研究

原爆被爆者を含む両親とその子ども（トリオ）について、被ばく線量による、遺伝子の変異の有無を調査するものです。

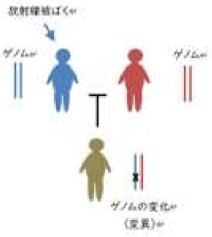
ゲノムシーケンシングを用いた新たな被爆二世調査

放射線への被ばくにより、その子供の健康にどのような影響が表れるかを明らかにすること。

【研究対象者数】

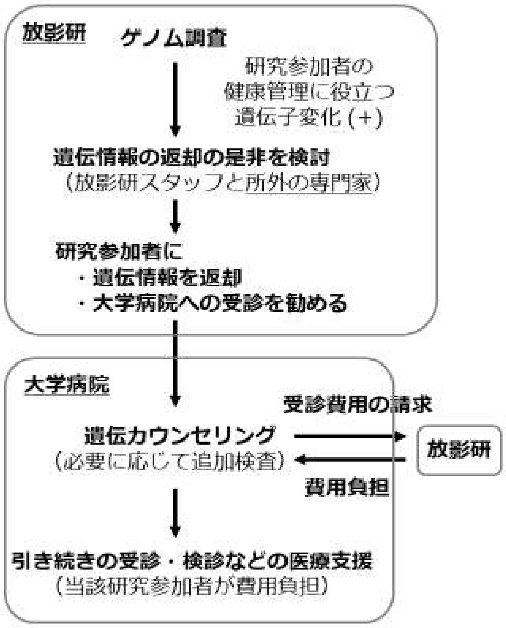
580 家族

【研究方法】



1. 血液試料からゲノム DNA を抽出する。
2. ゲノム DNA から次世代シーケンサーで 解析し、スーパーコンピューターを利用して、対象者ごとのゲノム情報を取得する。
3. 両親の子どものゲノム情報を比較して、子どもの世代で新たに生じた「DNA の変化」の数を調べる。

二次的所見(遺伝情報)の返却の流れ



【お問い合わせ先】

病院運営支援部総務グループ　持田　謙二
TEL:082-257-5418　　FAX:082-257-5087

放射線影響研究所・広島大学合築棟の概要

〇建物面積（建築面積　905.02 ㎡、延べ床面積　7,788.25 ㎡）
（内訳）
放影研面積　7,162.52 ㎡
広島大学面積　625.73 ㎡

〇建物構造　10 階建 ： 鉄骨鉄筋コンクリート造（1 階～3 階）
鉄骨造（4 階～10 階）

〇建築費　設計・監理　1.78 億円
施工　51.97 億円（機器・什器等除く）

〇完成予定等　2027（R9）年1月中旬完成、2027（R9）年 1 月下旬・引渡

＜完成イメージ＞